

連盟ニュース
251

神奈川 12

2005.12.13



久良岐ハイキングクラブ 報告 三上茂 計8名(男4女5) 平均58歳

11/5 室内例会(8)	11/27 公開ハイク弘法山(7)	12/17-18 望年山行三頭山
11/ 三頭山下見(1)	12/3 室内例会(4)	1/15 足柄万葉公園

小田原ナーゲル 報告 春日谷

11/1 広沢寺 岩トレ(1+1)	11/5 伊豆,城山,南壁(1+2)	(3+1)	例)(8)
11/3 寄コシバ沢-鍋割山-鍋割北尾根(1)	11/5 畦方丸,権現岳(1)	11/19 ユーシン林道(犬と散歩)(1+2+1)	11/23 大室山,加入通山(3)
11/8 堂平(1+1)	11/5 西岳-編笠山(1+1)	11/20 967ピーク-権現山(1)	
11/3 広沢寺 岩トレ(3)	11/18 南権現山(5)	11/20 志賀,笠ヶ岳(定)	

みずなら山の会 報告 小川眞澄 計33名(男20名 女13名) 平均年齢53歳

11/2-3 丹沢蛭ヶ岳	11/23 幕岩(2 その他2)	12/7 雪崩講習会	12/25 幕岩
11/3-5 男体山,女峰山	11/26-27 惣科山	12/10 幕岩	1/3 新年山行(鍋割)
11/8 例会	11/27 ファーストエイド講習	12/11 十二ヶ岳	1/14-15 関東ブロック雪崩講習
11/18 丹沢奇-雨山	11/27 広沢寺(3)	12/14 広沢寺	1/15 天城山
11/17 運営委員会	12/4 高尾山景信山(忘年山行)	12/14 例会	1/28 大菩薩
11/19-20 城ヶ崎		12/17-18 谷川(雪トレ)	
11/28 雪崩講習		12/20 運営委員会	

県連のスケジュール

1月	2月	3月
1 日	1 水	1 水
2 月	2 木	2 木
3 火	3 金	3 金
4 水	4 土	4 土
5 木 常任理事会	5 日 常任理事会	5 日
6 金	6 月	6 月 常任理事会
7 土	7 火	7 火
8 日	8 水	8 水
9 月	9 木	9 木
10 火 事務局長会議	10 金	10 金
11 水	11 土	11 日
12 木	12 日	12 日 総会
13 金	13 月	13 月
14 土 関東ブロック雪崩講習会	14 火 事務局長会議	14 火
15 日 関東ブロック雪崩講習会	15 水	15 水
16 月 事務局部会	16 木	16 木
17 火 リーダ学校机上 教育部会	17 金	17 金
18 水	18 土	18 土
19 木	19 日	19 日
20 金	20 月 事務局部会	20 月 事務局部会
21 土 救助隊トレ	21 火 リーダ学校机上 教育部会	21 日 リーダ学校机上
22 日 救助隊トレ	22 水	22 水
23 月	23 木	23 木
24 火	24 金	24 金
25 水	25 土 リーダ学校実技 関東ブロック救助隊交流集会	25 土 リーダ学校実技
26 木	26 日 リーダ学校実技 関東ブロック救助隊交流集会	26 日 リーダ学校実技
27 金	27 月 クリーンハイク第2回	27 月 クリーンハイク第3回
28 土 リーダ学校実技	28 火	28 火 遭対部会
29 日 リーダ学校実技		29 水
30 月 クリーンハイク実委第1回		30 木
31 火 遭対部会		31 金

全国登山者自然保護集会に参加して	高橋勇三	2
2005 労山フェスタ清里集会に参加して	安田紀美代	4
救助隊雪上トレーニングのご案内		6
関東ブロック救助隊交流集会開催のお知らせ2006		6
自然保護委員会報告		7
事務局長会議報告		7
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定		8
県連のスケジュール		10

神奈川県勤労者山岳連盟
〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階
発行責任者 中山 建生 編集責任者 村松 勝
TEL/FAX 045-434-2726 http://www.k-rouzan.net/

全国登山者自然保護集会に参加して

自然保護委員長 高橋 勇三

「登山者と自然の新たな関り方を考える」をテーマとして第13回全国自然保護集会が、11月19日(土)、20日(日)に愛知県瀬戸市定光寺の愛知県労働者研修センターで開催されました。

参加者は全国33都道府県から350人で、神奈川は自然保護委員から高橋勇三(藤沢山の会)、吉岡広明(地平線の会)、大日方恵美子(アルパインクラブ横浜)、羽生田麻衣(アルパインクラブ横浜)の4名が参加しました。

初日の19日は、13時より主催者を代表して斉藤義孝全国連盟理事長、主管県連を代表して洞井孝雄愛知県連理事長の挨拶から始まり、つづいて後藤功一全国自然保護委員長から「自然保護憲章」の取り組みの経過報告、鈴木貫太憲章制定委員会座長から登山自然保護憲章(案)の基調報告が行なわれ、北海道、宮城、愛知、近畿ブロックの各地における憲章(案)の討議の取り組みについてそれぞれ報告がなされました。

休憩後記念講演が行なわれ、溪流保護ネットワーク代表・田口康夫氏による「溪流環境と砂防ダム問題」と題し、プロジェクトを映写しながら砂防や治山ダムが自然環境に及ぼす影響や、さまざまな問題を指摘し、これからは、砂防機能を生かしながら自然に目を向けたいろいろな取り組みをすべきであると説明されました。

夜は、交流集会が行なわれ各県提供の地酒を交わしながら、各会の情報交換で盛り上がりました。

20日(日)は、9時より11時まで、次の六テーマの分科会が各会場に別れて行なわれました。

私達は、分かれてそれぞれの科会に出席しました、分科会のテーマと討議の主な意見は、次の通りです。

第1分科会 「地球環境と登山者の役割」

地球における環境破壊が急速に進んでいます。一般市民に見えにくい山の自然を

登山者は見ることが出来ます。自然の変化に気づき、登山者として何ができるか、何をなすべきかを深めましょう。

主な意見

- ・山の変化に気がつくことや、温暖化と雷鳥の関係の文章を憲章にいたい。
- ・本文と解説書のセットのありかたを考えたい。
- ・自然を見る目を養うとはどういうことか、考えたい。
- ・電車利用など、少しでも環境に影響の少ない方法を考える必要がある。

第2分科会 「ダム、林道など公共事業の功罪」

全国各地で公共事業が続いています。私達は一時的な利便性や快適性だけでなく、長期的な視野と環境保全の観点から見て、一つ一つの事業がどのような意味を持つ手いるのか、登山者の視点から考えましょう。環境破壊を客観的・科学的にとらえる力をどうつくってきたのか、どうつくっていくのか検討する。

主な意見

- ・林道は一般車が高い所までいけないようにして、オーバーユースに対応してはどうか。
- ・平和の問題についても憲章にいたい。
- ・公共事業の「罪」の部分は、意識して情報を集めないと見えない。
- ・風力発電の害の部分も見つめるべきである。
- ・市民参加型には大きなエネルギーが必要である。
- ・憲章は、机上の空論にならないようにする必要はある。

第3分科会 「自然を傷めつけない登山とは」

登山行為それ自体が消極的に自然を傷めつけていると言えるでしょう。自然への負担を可能な限り最小限にとどめ、自然との共存を模索することが登山者としての責任です。登山者として、これからどのような登山をしていくのか考える。

主な意見

- ・登山道は、最小限の整備にしたい。
- ・自然を傷めつけないよう、集団登山への対

アルパインクラブ横浜 報告 熊谷博美 計42名(男23:女19)平均37.4歳

9/29 丹沢 檜洞丸(3)	交流集会盛岡(1他2)	10/30 小川山(2)	11/19-20 空木岳(3)
9/30 丹沢山(1)	10/15-16 西穂高岳(1他3)	10/30 湯河原幕岩(1他1)	11/19-20 全国自然保護集会(2)
9/31 乗鞍岳(1他3)	10/16 高尾山天狗トレイル(1)	10/30 有笠山(1他4)	11/20 丹沢蛙ヶ丸(5)
10/1 鷹取山(6)	10/17-19 平ヶ岳(1)	10/30-31 八ヶ岳 赤岳(1他7)	11/20 海金剛(2他1)
10/1 硫黄岳・赤岳(1)	10/21-23 那須三斗小屋温泉(2)	11/3 湯河原幕岩(7)	12/10-11 雪上訓練
10/2 沢講習 勘七ノ沢(14)	10/22-23 富士山(1他5)温泉(6他1)	11/3 丹沢山(1他1)	12/14 例会
10/3 小川山(1)	10/23 湯河原幕岩(1他1)	11/10 三頭山(2)	12/20 雪山ミーティング
10/8-9 那須 三斗小屋温泉(6他1)	10/24 谷川西黒尾根(2)	11/10 丹沢塔ノ岳(2)	12/21 運営委員会
10/8-9 小川山(1)	10/24 城山(1他2)	11/12丹沢玄倉大石山(2)	12/27 例会
10/8-9 錫杖岳(1他1)	10/15-16 日光 半月山(1他4)	11/12-13 八ヶ岳阿弥陀南陵(3)	1/11 例会
10/8-10 谷川岳(2)	10/15-16 丹沢キュウハ沢(1他6)	11/12-13 小川山(4)	1/18 運営委員会
10/8-10 日本山岳耐久レース(長谷川カップ) (1)	10/22-23 木曾駒ヶ岳宝剣岳(5)	11/13 広沢寺(2)	1/24 例会
10/9 丹沢大山周辺(1)	10/23 雨飾山(3)	11/13 丹沢塔ノ岳(2)	
10/9 丹沢一ノ塔(1他2)	10/29 丹沢塔ノ岳(1)	11/17 湯河原幕岩(1他3)	
10/9-10 妙高山火打山(1他2)	10/29-30 空木岳(7)	11/19-20 湯河原幕岩(1他9)	
10/10 小川山(4)	10/29-30 甲斐駒ヶ岳仙丈岳(1他1)	11/19-20 鬼怒沼山(2)	
10/13 丹沢蛭ヶ岳(1)	10/30 草津白砂山(2)		
10/15 丹沢山(1)			
10/15 女峰山(4他1)			
10/15 天狗岳(2)			
10/15-16 全国救助隊			

川崎勤労者山岳会 報告:佐々木利江 計58名(男36 女22)平均40歳

10/29-30 FC小川山(4)	11/26-27 FC湯河原幕岩(8)	12/14 運営委員会
10/30 県事故脱出(4)	11/27 県ファーストエイド(6)	12/17-18 山雪トレ
11/4-5 奥多摩・雲取山(4)	11月は他に13の山行	12/21 例会
11/13 搬出ト(21)	12/7 机上・気象	
11/26 滝子山(12)	12/10-11 登雪山	

やま++ 報告 柴田勇作 計12名(男8:女4)平均46歳

11/3 中央線・お坊ガ岳(3)	ルフレスキー(10+1)	1/11 勉強会・百合丘(フィールドマーク、山スキー)
11/6 RCT座学ヨネティ王禅寺(9)	12/ 丹沢・大山三峰マイナールート(10)	1/15 スノーハイク
11/9 勉強会・百合丘(高層天気図)(12+1)	12/11 RCT・鷹取山	1/14-15日 関東ブロック雪崩講習会
11/10 秩父・両神山(3)	12/14 勉強会・百合丘(冬山の歩き方、山スキー)	1/21-22 新年会・葉留日野山荘
11/13 奥多摩・鹿倉山(9+1)	12/18 北八・縞枯山スノーハイク	1/25 例会・百合丘(冬山、雪崩)
11/19-20 富士五湖 蛾ヶ岳(4)	12/21 例会・百合丘	1/28 富士山・双子山 山スキー
11/20 秩父ハマイバ丸(3)	12/29-31日 南八・硫黄岳	
11/23 丹沢大山(3)	1/2-4日 飛騨高山・テレマークスキー	
11/27 県連ファーストエイド講習会(3)	1/8-9 雪山テント泊	
11/30 例会・百合丘(勉強・セ		

こまくさハイキングクラブ 報告 山田日出子 計18名(男4:女14)平均61歳

10/2 子安の里から天神島(16)	11/13 藤沢から大船まで	12/1 忘年山行大楠山
10/23 大山三峰山(16)	11/27 明神岳	

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

横浜わらび山の会 報告：野尻邦夫 計18名 男6女12

11/1 塔の岳(1)	11/13 大楠山(5)	11/22~30 ネパール	12/23-24 雲取山
11/3 蛭ヶ岳(5)	11/15 荒島岳(2)	11/24 本間ノ頭南東尾	1/4 三頭山
11/6~7 甲州高尾山・	11/16 酉谷山(2)	根(2)	1/15 大山三峰
棚横手山・西沢溪谷	11/17 筑波山(7)	12/4 忘年会	1/22 シーサイドハイ
(11)	11/20 奈良倉山(11)	12/18 大仏切り通し	ク観音崎

川崎ハイキングクラブ 報告 樋渡輝彦 計101名(男46 女55)平均57歳

10/21-22 国師岳-金峰山(7)	11/6 日の出山・例会山行(8)	ハイク	12/23 鶴ヶ鳥屋山
10/22-23 女峰山(6)	11/9 運営委員会	11/30 例会	12/25 弁天山
10/26 例会(40)	11/13 鷹取山・新人教育山行(8)	12/4 高川山・例会山行	12/28 例会
10/28-29 尾瀬ヶ原(4)	11/13 天狗岩(10)	12/10-11 三頭山	12/31-1/1 高ボッチ山
10/28 鹿倉山(7)	11/16 大室山	12/10-11 不老山・大野山	
10/29-30 七面山(8)	11/20 金撞堂山	12/11-12 清和県民の森	
10/30 武蔵五日市・陶芸山行(9)	11/20 天園	12/14 運営委員会	
11/5 牛寝通り(5)	11/20 権現山	12/17 湯坂道	
11/5-6 酉谷山(3)	11/27 長者ヶ岳・公開		

横浜こぶしの会 報告 田辺美由紀 計25名(男15人 女10人)平均年齢49歳

11/3 会低山 大菩薩南稜(10)	11/20 会低山.こぶしの会&ヤッホークラ	(5)	12/17-18 雪トレ、谷川岳、天神平
11/3 伊豆ガ岳(1.0B2)	合同山行.百蔵山(会員	11/26-27 鳳凰三山(3)	12/31-1/2 正月山行・蝶が岳
11/6-20 ネパールトレッキング(2)	3)	11/26-27 伊東,大平山(2 0Bとの合同山行)	11/12 例会
11/10 例会	11/22 例会	12/3 忘年会	1/24 例会
	11/26 日向山.鞍掛山	12/8 例会	

相模勤労者山岳会 報告 蝦名政次 計40名(男25:女15)平均51.8歳

10/19-21 雨飾山(3)	大峰山(1)	11/9 岳の台交流ハイ	11/26 本社ガ丸(3)
10/22-23 会津磐梯山(1+3)	10/28-29 秩父御岳山(4)	ク下見(3)	12/14 第1例会
10/22-23 読図山行丹沢山(4)	11/1-3 常念岳-蝶ヶ岳(1)	11/11 丹沢表尾根(1)	12/16 忘年会
10/22-23 奥多摩弁天岩(2)	11/2 大山(1+1)	11/13 広沢寺RCT(3)	12/21 第2例会
10/22-23 三つ峠(県連講習会)(1)	11/2-6 聖岳-光岳(5)	11/19 大山南陵ボッカ	
10/26-11/2 龍門ガ岳-	11/3 鳥屋待沢(2)	トレ(21)	
	11/6 モミソ沢搬出トレ(9)	11/20-27 ネパール(ル	
		クラ-ナムチェ)(1)	
		11/23-24 鍵掛峠-本栖湖(2)	

横浜ハイキングクラブ 報告 池上準子 計58名(男21:女37)平均59歳

10/15 見晴茶屋廃材おろし(1)	10/29 足和田山(8)	11/26-27 望年山行(箱	12/17-18 丹沢主縦走
10/22-23 唐松尾根,笠取,雁坂(9)	11/3 黒岳(10)	根)	12/23 沼津アルプス
	11/5 三ツ峠(6)	12/4 二十六夜山	12/25 白山・飯山観音
	11/13 大山北尾根	12/16 天覚山-大高山	

藤沢山の会 報告 清水守 計98名(男41:女57)平均59歳

11/1 尾白川溪谷(6)	写真の展示とブローチ	他25山行	1/15 パードウォッチ
11/3 妙義山(5)	作り(30)	12/3 矢倉岳	ング
11/5 塔ノ岳(8)	11/19 三浦岩礁(15)	12/10 大山北尾根	1/21-22 雪山実技山行
11/12 モソミ沢(10)	11/23 九鬼山(10)	12/17-18 中川温泉・	
11/12-13 公民館祭り・	11/27 高川山(8)	忘年山行	

対策を考える必要がある。

第4分科会 「入山規制、入山料について」

私達が自然保護を考えるのは、自然が私達人間にとって必要であり大事だからこそです。自然保護のための自然保護ではないはず。入山者規制や入山料徴収が、ほんとうに自然保護に必要なのか、具体的に検証されるべきでしょう。

登山者の考えや地域住民の意識、相互の関わりについて討議。

主な意見

- ・ゴミの持ち帰りはモラルであり、入山料と関連付ける必要はないのではないか。
- ・入山料は、使い道に納得できれば良いと考える。

第5分科会 「山を汚さない登山めざして」

山を傷めることと同様、最小限といえども私達登山者は山を汚しています。30数年の清掃登山の活動はゴミを減らすとともに、水の汚染やトイレ問題などに関与するようになってきました。さらにモラルを高めるだけでなく、自然を深く知り、自然にどのような姿勢でのぞむのか、どのような登山者になっていく必要があるのか考えよう。

主な意見

- ・登山者が拾うゴミの限界を考える必要がある。
- ・携帯トイレは、重い、臭う、ザックに入りにくいなどの理由で普及が伸び悩んでいる。
- ・登山で、トイレが入れられるザックなどの対策を考えても良いのではないかと。

第6分科会 「地域に根ざした登山を考える」

山の一つ一つが、その山域や地域ごとに、気候・水質・地質・地形・生物など固有の成り立ちと風習・文化・歴史・そこに住む人々の生活をもっています。

さらに行政やさまざまな利害関係もあります。登山者はそれらとどのように関わり、それぞれの地域や地域の特性を尊重していくことができるか、どのような登山のあり方が求められるのか討議。

主な意見

- ・各地域の自然保護活動は、行政との関わりが重要になってきている。
- ・登山会員が地域に根ざした活動を進めていきたい。

各分科会では、多くの意見が出され活発な討議が行なわれ、時間が足りないほどでした。

11時より、全体集会が行なわれ、各分科会から出された主な意見の発表と、集会のまとめがありました。

なお、各分科会で行れた討議の結果は制定委員会にて、「自然保護憲章」最終案に反映させることとし、出された多くの貴重な意見は、委員会でもまとめ後日報告することです。

12時解散後、愛知万博会場近くの里山、「海上(かいしよ)の森」の観察会に参加しました。この森は当初万博の会場に計画されていましたが「海上の森」を守る運動により開発計画を縮小させるきっかけになった所です。開発を免れたこの豊かな里山を散策し、秋の彩りの中で自然の大切さを痛感しました。

この集会に参加し、登山自然保護憲章づくりに向けて全国から参加した多くの仲間と共に討議したり、語りあったりして、得たものは、私たち自身と自然とのこれからの関わり方をじっくり考えていかなければと思いました。



「2005 労山フェスタ清里集会」に参加して

横浜ハイキングクラブ 安田紀美代

10年ぶりに開催された「労山全国大会」は、清里高原美の森KOMA・VILLAGE(旧たかね荘)にて『ゆたかな登山とその未来を語り合う全国の仲間と』をテーマに南は九州、北は北海道の36地区から500名を超える参加者で盛大に行われました。

記念講演やパネルディスカッション、分科会、交流登山、交流会等が行われましたが、詳しいことは、「労山ニュース」や「登山時報」に掲載され、紹介されると思いますので、ここでは横浜ハイキングクラブ7名が参加した交流会や講演会、又、会場の様子などを紹介したいと思います。

一日目 前夜、横浜から県連がチャーターした専用バスで出発する。深夜清里着、ケビンにて仮泊。午前8時、天女山交流ハイクに



参加する。天女山頂上の天ノ河原に着くと、赤岳をはじめ南アルプス、奥秩父の山々の大パノラマが広がっていてすばらしい展望である。歌碑のある広場に着くと、(A)自然観察、(B)写真教室、(C)絵手紙教室、(D)これなら出来る搬出方法、の四つのプログラムが用意されていた。(D)のコースには15名ぐらいの参加者があり、私たち7名はこれに参加、大阪府連盟の篠原良子講師による搬出訓練にチャレンジ、手持ちの登山用具を使って解りやすい説明と実技に、なるほどと有意

義な体験をする事が出来た。

3時30分宿に到着、ここで受付をすませて記念品を受け取る。受付の横には登山用品や山の本、地元の名産品のワインなどが販売されている。又、全国各地の山の会の「会報誌」が50冊ぐらい展示されていて、それぞれに特徴があり楽しく読むことが出来た。

夕食後、作家、椎名誠氏により「辺境の食卓」と題して講演がおこなわれた。世界を旅して冒険し、体験されてきたことを、パネルを使って「世界の秘境の食」についてユーモアをいれながら、楽しく語ってくれた。会場の大食堂には、300人を越える人たちが集まり、熱心に聞き入って質問が次から次へと出て、大盛況だった。

二日目 午前中、女性分科会に参加、テーマ「事故や怪我を防ぐ体づくり」。

登山を長く続けるための体づくりにはどうしたらよいのか、インストラクター石渡美弥子さんの指導のもと、加齢による体の変化や故障を乗り切るためのトレーニング方法を、実際に体を動かして汗を流し学習をする。80名以上の参加者があった。

午後からは、4人のパネラーによるパネルディスカッションで、高齢化していく中で、これからの登山をどう考えたらよいのか、オーバーユースによる自然破壊と環境汚染についての問題、二十一世紀の登山と自然の共存のあり方など、熱心な討議が行われた。

この夜は仲秋の名月、澄みきった夜空を見上げると、満月が私たちを祝福してくれているようだ。大駐車場の特設ステージでは大交流会が始まった。全国各地から持ち寄った地酒が数十本、会場の一角に並べられて全員にふるまわれ、飲み放題である。

第一部 山の音楽会「歌でめぐる世界の山」。ゲスト青柳常夫と唐戸久美子による、なつかしい山の歌が、次から次へと披露された。フニクリ・フニクラ(イタリア)、エーデルワ

自然保護委員会報告

H17.11.28 記録=石田

出席者 高橋(藤沢山の会)、人見(カモの会)、金森(みずなら山の会)、斉木(横浜HC)、北野(緑と星スキー山岳会)、三上(久良岐HC)、磯部・吉岡・石田(地平線の会)、大日方・羽生田(アルパインクラブ横浜)、山田(小田原ナゲル)、以上12名。

高橋氏の司会で20時から21時25分まで行われた。

高橋氏が用意したレジメが配られた。

第13回全国登山者自然保護集会に参加した報告が高橋氏から行われた。

自然観察会の取り組み。

出席した内の7名が参加し、他に参加の予定。

植物に関する解説は吉岡氏が担当。平塚博物館では館員の方から説明を受ける。

忘年会を持つ予定も決める。

連盟ニュースに載せる写真と文は、山田氏が担当する。

2006クリーンハイクについて

体制 昨年同様、大倉集中で実施(大倉本部のみ)。

コース 昨年同様に自然観察コースと登山道整備コースは実施する。新たに産業

廃棄物調査コースを設ける。クリーンハイクに対する意見の中で産業廃棄物についてのものも多いが、色々な問題課題を含んでいる状況。まず、産業廃棄物について現状を把握することから試みていく予定(林道を主とする)。

一般参加 参加者が必ずしも登山者ではない状況もみられてきている。また、全ての会が一般参加者に対応することが難しくなっていることもあり、安全確保と参加しやすさを考慮し、一般参加者に対し、あらかじめコースを限定(絞る)して対応していく。

第一回クリーンハイク実行委員会は、2006年1月30日(月)に持ちます。

場所は、県連事務所。時間は、19時30分から21時30分を予定しています。

各会から委員の選出、参加をお願いします。書記を決める。連盟ニュースに掲載する。



事務局長会議報告

11月8日

出席会 川崎労山、川崎HC、AC横浜、横浜HC、横浜こぶし、藤沢、みずなら、久良岐HC、こまくさHC、カモの会、白嶺岳和会、雪童、地平線、やま++ 以上14会

県連からの報告:

11/1 遭難緊急時対応会議の報告

12/7 関東ブロック雪崩講習会机上の案内。

活動報告

藤沢山の会 大山クリーンハイク実施。

久良岐HC 公開ハイク実施。
カモの会 11月12-13 山中湖でカモ祭り実施。



救助隊雪上トレーニング参加者募集

遭難対策部（救助隊）

先月号で概略をご紹介しましたが、具体的となりましたので再度ご案内します。救助隊員・救助隊希望者の方は奮って参加して下さい。

1. 目的
 - ・冬山における組織的搜索救助訓練
 - ・冬山における搜索救助に関わる要素技術の確認
2. 訓練の概要
 - 1月21日（土）要素技術の確認および救助要請受託
 - 午前：東神奈川の地区センター（予定で変更もあります）にて
 - 雪上搬送の梱包技術
 - 雪上搬送のロープワーク
 - GPSの使用法についてのトレーニングをおこないます。

午後：県連事務所にて遭難者計画書（谷川・土樽周辺）を入手し活動方針の確認と活動計画作成をおこない準備を整え出勤（車にて土樽駅へ移動）

1月22日（日）
土樽駅を本部（車中）として搜索救助活動2隊に分かれての搜索をおこない、発見後は事故者の梱包と搬出をおこなう。14時ごろを目途に訓練を終了する。

申し込み期限は1月10日。
申し込み先は柴笛クラブ・海輪 利昭
電話・ファックス...044（777）5125
メールアドレス.....TKAIWA@aol.com
やむを得ない場合は1日参加可能ですが、できれば両日参加をお願いします。

関東ブロック救助隊交流集会 開催のお知らせ

2006年 主催 関東ブロック協議会

開催日：2006年2月25日（土）～26日（日）
開催場所：群馬県谷川岳土合駅周辺
集合：土合山の家 9：30 AM
宿泊：土合山の家（JR上越線土合駅下車3分）
参加費：7500円（土合山の家宿泊2食付き、交流会費等を含む）
1日のみ参加の場合5000円（資料代等）
参加対象：関東ブロック協議会所属連盟救助隊（東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、茨城、山梨、栃木）
申し込み締め切り日：2月9日
装備：冬山装備一式、登攀具一式（ピーコン、ゾンデ、スコップをできるだけ持参してください）
共同装備は各地方連盟救助隊装備（事務局より要請するものもあります。その節はよろしくお願ひしま

す。
訓練内容：深雪における救助活動交流会
初動捜査（ピーコン、ゾンデ）
埋没者の救出方法（掘り出し、保温、搬送等）
シート梱包
アキヤ及びスケッドストレッチャー活用術
雪面における支点工作
雪面での確保（アックスビレー等）
救助地点までのルート工作（確保、フィックス方法等）
引き上げ、引き下ろし
無線活用
総合シミュレーション
交流会
各県連毎の活動報告
技術交流
懇親会

イス（スイス）、カントリーロード（アメリカ）、トロイカ（ロシア）、山小屋の灯（日本）、岳人の歌（日本）、等等楽しく想い出のある歌ばかりである。

第二部は、全国アトラクション交流会で、名演技（迷演技？）が始まった。兵庫県連の大合唱「六甲おろし」、和歌山県連のフラダンス「月の夜は」、宮城県連の「紙芝居」等が次々に披露されたが、皆、芸達者であるにはびっくりした。全国女性部会からの出し物は、コントで「ひやり娘とハット青年」、私たち7名はその中のひとつ「カメラに夢中になって、あわや崖から転落」に出演することになった。主役は安田、二度も崖から落ちるシーンに熱演、出演者全員で笑いが止まらず楽しんでしまった。残念ながら入賞は逃がしたが、全員にお揃いのTシャツをいただき、満足。満足。

第三部は、9時から大食堂ホールに場所を移し、「歌声inミッドナイト」が始まり、リクエストの曲が、次から次へと延々11時過ぎ迄続き、皆で大合唱、最後の夜を楽しんだ。

三日目 午前中、女性分科会に出席、テーマ「山に恋して・わたしと登山と社会」。

76歳になった今でも、山に、スキーにと元気に活躍されている画家で登山家の熊谷権（かや）さんを囲んで、楽しいひと時をすごす。北海道でなだれにあって、あわや遭難の話や、昨日はスケッチブックを片手に編笠岳と権現岳に登り、スケッチをしてきた八ヶ岳の絵を皆に見せて下さり、山と共にある人生を楽しく語ってくれた。

その後、閉会式が行われて各部会からの報告と表彰式があり、全国連盟の斉藤理事長の挨拶と、山の歌の大合唱で無事に三日間の幕を閉じた。

今回、天候にも恵まれ、素晴らしい大自然の中でこの様な立派な集会に参加することが出来、又、全国の大勢の仲間たちと交流し、有意義な感動した三日間を過ごすことが出来ました。ここで、実行委員の方々のご苦勞に感謝するとともに、あらためて「労山」という全国組織の中にいる私たちであることに、誇りを持つことが出来ました。ありがとうございました。



自然観察会



天女山駐車場



女性のひろば



女性のひろば